

科目名	実習ゼミⅤ			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科2年	後期	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
救急医学を理解し、患者の急変時に対応できる知識・技術を習得する。								
〔授業全体の内容の概要〕								
救急医療に必要な知識に対しての講義、患者の急変時での基礎的な観察・処置を実習で実施。								
〔講師の実務経験〕								
幸生病院、ドレミリハビリテーションセンター、機能訓練教室にて言語聴覚士として29年間勤務								
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕								
患者の急変時に対して、的確な観察・判断・処置ができる。								
回数	講義内容							
1	バイタルサインの観察/全身観察							
2	全身観察							
3	心電図の読み方							
4	ショックの分類							
5	骨折固定法、止血法、ネックカラーの使用法							
6	脳血管障害・痙攣発作への対応、熱傷の判断と対応							
7	心肺蘇生法；成人							
8	心肺蘇生法；成人、AED							
【 準備学習・時間外学習 】								
【 使用テキスト 】								
書籍名			著者名			出版社		
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】								
筆記試験にて評価する。								